



滋 臨 衛 技

第218号

だより

□発行所
滋臨衛技師会
□事務局
大津赤十字病院検査部
大津市長等1 1 35
□発行責任者
立 脇 憲 一



賤ヶ岳の大観

目 次

○年頭所感.....	2
○平成17年秋の叙勲を受章して.....	3
○秋のハイキング.....	4
○11月定例理事会議事録.....	6
○12月定例理事会議事録.....	7
○お知らせ.....	9

<http://www.biwa.ne.jp/samt/>



年 頭 所 感

(社)滋賀県臨床衛生検査技師会

会長 **立 脇 憲 一**

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはすがすがしい新春を健やかにお迎えになられたことと存じます。

昨年の最も大きな出来事としては、10月の第45回近畿医学検査学会開催でありました。実行・実務委員182名を始め県内会員様すべての献身的なご協力とご支援を賜り大成功に終了することができました。そして、予想をはるかに上回る参加者（有料入場者数944名、学生約100名の計1050名）を迎えることができ、盛大で活発な学会を開催することができました。本当にありがとうございました。

特に、特別講演にお迎えした宇宙飛行士 毛利衛様による「宇宙と生命」 - 無重力空間の可能性、あるいは公開講座にお迎えした石田雅男様による「ハンセン病とわたし」 - 人間として生きる、では満場の観衆を魅了し、心に残るご講演を拝聴できましたことは、よき思い出となり、今後の私たちの歩む方向への示唆に富む内容でありました。

また、学会前日に開催されましたチーム医療実践セミナーでは、総計149名の参加者を得ることができ、実業務に即した内容で熱心な議論が交わされ、3時間があっという間に過ぎたセミナーでありました。

今回の医学検査学会では、はじめての試みであり企画でありました日本衛生検査所協会近畿支部学術大会の併設や、臨床検査を臨床面から追及する日本臨床検査医学会近畿支部総会との同時開催にも多数の参加者を得、活発な意見交換ができました。

今後とも、この同時或いは合同開催が継続発展し、さらに臨床検査が発展していく一助になることを願っております。

年末には、現在政府が推し進めております医療制度改革の全容が明らかとなりました。一昨年の混合診療問題に引き続き、患者負担増や国民皆保険制度の崩壊に繋がるような今回の改革には、技師会としてもいち早く反対の立場をとらせていただきました。他医療関連団体とともに国民の意見として皆様の署名を集めさせていただき、日臨技を通して中央に届けさせていただくことにしました。この件に関しては今後とも引き続き注視していくことが必要であります。

さらに本年は役員改選の年でもあります。皆様を代表とするすばらしい新役員が選ばれ本会のますますの発展を期待していきたく存じます。

今年も会員の皆様のご支援とご協力を賜りながら、皆様にとってもさらに良い年でありますことを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

平成17年秋の叙勲を受章して



能登川病院 臨床検査科
元 廣 昌 之

この度、社団法人滋賀県臨床衛生検査技師会のご推薦により、平成17年秋の叙勲におきまして瑞宝双光章を受章させていただきました。

このような栄えある章をいただくような業績、功績等はありませんが、受章することができましたのは、能登川病院始め、今日までご指導いただきました皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

11月7日(月)、県庁での伝達式におきまして、國松知事様より勲記、勲章、そして、丁重なるご祝辞を賜りました。

11月9日(水)には、皇居「豊明殿」で天皇陛下に拝謁し、労いと励ましのお言葉を賜り、身の引き締まる思いで、帰路につきました。

振り返ってみますと、昭和37年、京都の西陣健康会堀川病院に検査助手として奉職し、昭和47年から国民健康保険能登川病院にお世話になっておりますが、臨床検査には43年余り携わったこととなります。

当初は、検査試薬の調整、分析作業、検査報告書、各種統計等、全てが手作業で、非常に時間を要しておりましたが、日進月歩の勢いで改良が進み、迅速かつ正確に検査結果が得られるようになって参りました。また、生理学的検査を始め、各分野での業務拡大、チーム医療への参画等、めざましい発展をみております。

一方、滋賀県臨床衛生検査技師会では、昭和59年に全国で6番目という早い時期に法人化がなされ、滋賀県医学検査学会や近畿医学検査学会の開催、臨床検査の命である精度管理事業、生涯教育研修事業など多くの事業に取り組み、組織的にも確立されております。

微力ではございましたが、私も役員の一員として厚生部担当理事を仰せつかり、他団体との交流やマラソン大会、ソフトボール大会などを担当させていただきました。その時々楽しい思い出が今も懐かしく蘇って参ります。

今日のこの喜びを胸に、臨床検査技師として、また、社団法人滋賀県臨床衛生検査技師会の会員として、社会に貢献して参りたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様との素晴らしい出会いに感謝申し上げますとともに、この度の受章にあたり、ご推薦いただきました社団法人滋賀県臨床衛生検査技師会の皆様、また、ご多用の中、お世話いただきました皆様に心より厚くお礼申し上げます。



秋のハイキング

厚生部 夏原 寛治

去る11月6日(日)に秋のハイキングを開催しました。

参加人数は11名でした。たまにはゆっくりと、夕焼け空を見上げながら、時の流れに身を寄せ、過ぎ行く時間に酔いしれる旅人になってみようかな?とっていたのですが、とんでもない、今回は朝から雨で、そんな余裕はまったくありませんでした。

ハイキングというよりも、今回は詩人に近くなっていたような気がします。JR嵯峨嵐山駅から最初に大覚寺へ発進、大沢の池を見ながらいっぶくして「あーしんど...」と思っているやいなや、渡り鴨が優雅に放物線を描き飛来して来るではありませんか、古都・京都にふさわしい光景を目にして疲れも吹っ飛び、次は清涼寺に。

大覚寺より10分位で到着のはずが、コースを間違いとんでもない道に迷い込み、平均台くらいの細い道のりを経て何とか到着。ちょっと昔、子供の頃よく遊んだ近所の寺とよく似ていて、庭で野球でもやりたくなりました。続いて祇王寺へと進み、これがなんと尼寺にてそうろう。平家物語にも出てくるお寺で、苔がなんとも言えない雰囲気醸し出していました。余韻を残し天竜寺へと歩を進めて行く途中の竹林道では、竹林の合間から差し込む一瞬の木漏れ日になんとも言えない風情を楽しみ、一人、言葉少なくなる詩人でした。

現実に戻り、ふと気が付くと、天竜寺のお庭に座っている私がいきました。紅葉がきれいに化粧をし、私達を迎え入れてくれました。心が清らかになっていくのを覚えたのは私だけだったのでしょうか。

最終目的地の渡月橋まで全員そろっている事のよろこびを感じ、橋のたもとでハイ、ポーズ。今日一日が無事終わったことへの感謝でありました。

ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。



山科駅(集合場所)



大覚寺(松の間)



あぜみちを散策(嵯峨野)



嵯峨釈迦堂(清涼寺)



天龍寺

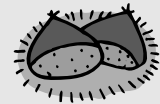


祇王寺



渡月橋(解散)

秋のハイキングに参加して



草津総合病院 井手 美希子

11月6日(日)、あいにくの雨の中、JR山科駅前に集まったのは11名。
私にとってはほとんどが大先輩方で、心なしか緊張の出発となりました。

まずは地下鉄とJRを乗り継いで嵯峨嵐山駅へ。観光客で混雑している駅を出て、始めに向かったのは大覚寺。入り口では、いけばなの展示に出迎えられ、さすが嵯峨御流の総司所らしい演出。境内は思いのほか広く、諸堂が立ち並んでいました。回廊を奥へと進むと大きな池(大沢池)が現れ、その池周囲の色づき始めた楓などに見入っていたら、いつの間にか時間が過ぎてしまい、各部屋の壁画を横目に足早に出て、次目指すは清涼寺。住宅地を進むうちに道が狭くなり嫌な予感がしてきました。予感的中して行き着いた先は民家の入り口。一行はUターンして、今度は田んぼ道へ。大の大人たちが田んぼ道を列を成して歩く姿は少々滑稽に思えましたが、そんなハプニングは旅の楽しみでもあります。清涼寺見学後は、嵐山らしく湯豆腐の昼食。そして、次に向かったのは祇王寺。苔むす庭の緑と少し色づいた葉のコントラストが美しく、晴れた日に再び訪れたいと思わせる所でした。最後に向かったのは天龍寺。途中風情ある竹林を抜け、天龍寺境内を散策。世界文化遺産に登録されている曹源池庭園はまるで絵葉書のような風景でした。天龍寺を出て、嵐山のシンボル・渡月橋にて解散となりました。

木々の葉は色づく途中で、紅葉には少し早めではありましたが、秋のコースとしては趣があり、私個人的には楽しめました。出発時に抱いていた緊張感はいつの間にか消えていて、風情ある景色とオヤジギャグを楽しみながらのハイキングとなりました。

秋のハイキングコース

山科駅(集合) 嵯峨嵐山 大覚寺 清涼寺 天龍寺 渡月橋(解散)

平成17年11月定例理事会議事録

日 時：平成17年11月10日(木) 17:00～19:00

場 所：K S K 近江八幡支店会議室

出席者：立脇、岸本、拝藤、竹島、植田、馬場、宮下、小椋、内木、重田、元廣、板谷

司 会：竹島

1. 会長報告

日臨技関係：12月1日(木)～14日(水)会長選挙。

1月28日(土)代議員会。

その他：本年度は、(社)滋臨技の役員改選があり。

2. 報告事項

1) 第45回近畿医学検査学会「学会運営マニュアル」作製印刷

日 時：10月8日(土) 8:00～16:30

場 所：成人病センター

2) 第15回学会実行委員会(第45回近畿医学検査学会)

日 時：10月10日(月) 18:30～20:00

場 所：成人病センター 検査部職員室

3) 第45回近畿医学検査学会準備

日 時：10月14日(金) 14:00～

会 場：ピアザ淡海 等

4) 臨床検査技師実践セミナー・滋賀2005

日 時：10月14日(金) 17:00～

会 場：ピアザ淡海

5) 第45回近畿医学検査学会開催

日 時：10月15日(土)・16日(日)

会 場：ピアザ淡海 等

参加者：1,330名

6) 第28回滋賀学会準備会議・1回目

日 時：10月20日(木) 18:00～

場 所：公立高島病院検査室

7) 厚生部「秋のハイキング」

日 時：11月6日(日)

場 所：嵐山方面

8) 第45回近畿医学検査学会終了挨拶

日 時：10月28日(金)

場 所：県庁、健康づくり財団、病院協会、医師会

9) 第28回滋賀学会準備会議・2回目

日 時：11月9日(水) 18:00～

場 所：大津保健所 2階会議室

3. 協議事項

1) 第45回近畿医学検査学会の終了について

受付、会場、運営、会計中間報告、関連行事等について協議

反省会、慰労会は12月1日(木)に開催予定。

2) 平成17年度第2回保健医療従事者研修会参加について協議

日 時：11月22日(火) 13:00～16:00

場 所：栗東文化芸術会館さくら 小ホール

3) 医療マネジメント学会第3回京滋地方会開催案内について協議

会 期：平成18年2月4日(土) 9:30～17:00

会 場：ピアザ淡海 県立県民交流センター

演題募集：11月30日〆切り

事務局：大津赤十字病院医療情報課

4) 第36回滋賀県公衆衛生学会開催について協議

日 時：平成18年2月16日(木) 13:00～16:50

場 所：ピアザ淡海 県民交流センター

演題募集：平成17年12月2日(金)締め切り

申し込み先：(財)健康づくり財団

5) 結核予防・院内感染対策研修会(主催：滋賀県病院協会)について協議

日 時：11月16日(水) 13:30～16:30

場 所：コラボしが21 3階大会議室

6) (社)滋臨技・選挙管理委員会開催について協議

日 時：11月16日(水) 18:00～

場 所：県立小児保健医療センター検査部

7) 第28回滋賀県医学検査学会の件について協議

日 時：平成18年2月19日(日)

場 所：草津市立まちづくりセンター(予定)

学会終了後会員情報交換会を開催予定(ホテルポストン草津)

8) (社)滋臨技・平成17年度第2回総会(予算総会)について協議

日 時：平成18年3月26日(日)

場 所：草津市立まちづくりセンター(予定)

総会の事業計画書、予算書は12月20

日までに事務局に提出。

9) 会計事務事務取扱規程の変更について協議

決定事項：会計の通帳等を会計担当理事の所在地（勤務地）とする。

12月10日(土)、ライズヴィル都賀山にて開催予定

10) 平成18年1月定例理事会の開催について
日 時：平成18年1月14日(土)
場 所：未定

広報部：広報紙を編集中

組織部：①会員動向別掲

会計部：通帳等を会計担当理事の所在地（勤務地）に変更できることとする。

4. 各部の連絡

学術部：第28回滋賀県医学検査学会を平成18年2月19日(日)に開催予定

事業部：①11月30日(水)に代表者会開催、②精度管理報告会は未定

生涯部：生涯教育セミナー「言語療法について」

次回理事会予定

開催日時：12月1日(木) 17時～

開催場所：草津まちづくりセンター

司 会：吉田

会員動向

1. 会員の動向（平成17年11月1日現在）

総会員数 515名（日臨技513名、県内2名）

新再入会員 25名

2. 勤務先の変更

会員番号	氏 名	施 設 名	旧 所 属
250048	樋 口 操 子	滋賀県衛生科学センター	湖北地域振興局

3. 転 出

会員番号	氏 名	転 出 先	旧 所 属
274777	浅 井 典 彦	市立奈良病院	滋賀県健康づくり財団

平成17年12月定例理事会議事録

日 時：平成17年12月1日(木) 17:00～18:30

場 所：草津市立まちづくりセンター

出席者：立脇、瀬田、岸本、吉田、拝藤、松瀬、竹島、植田、宮下、内木、重田、藤田、元廣

司 会：吉田

1. 会長報告

日臨技関係：日臨技の会長選挙（12月1日～14日の間）

近臨技関係：近畿医学検査学会は同時開催の方向で進める。

2. 報告事項

1) (社)滋臨技・選挙管理委員会開催

日 時：11月16日(水) 18:00～19:00

場 所：県立小児保健医療センター検査部

決定事項：

選挙公示：平成18年1月10日(火)

立候補締め切り：平成18年2月10日(金)

候補者の告示：平成18年3月3日(金)

開票日総会：平成18年3月26日(日)

2) プライマリーケア学会開催

日 時：11月20日(日) 9:00～16:00

場 所：びわこホール、ピアザ淡海 等

3) 平成17年度第2回保健医療従事者研修会

日 時：11月22日(火) 13:00～16:00

場 所：栗東文化芸術会館さきら 小ホール

4) 第3回地域医療推進協議会

日 時：11月22日(火) 14:30～16:00

場 所：滋賀県医師会館

出席：瀬田副会長

署名運動を協力要請あり。

5) 滋賀県理学療法士会30周年記念式典

日時：11月26日(土) 15:00～19:00

場所：琵琶湖ホテル

出席：立脇会長

演題募集：平成17年12月2日(金)✕

申し込み先：(財)健康づくり財団

5) 第45回近畿医学検査学会アンケート集計結果
.....別紙

6) 第28回滋賀県医学検査学会開催の件

日時：平成18年2月19日(日) 9:00～13:00

場所：草津市立まちづくりセンター

3. 協議事項

1) 平成17年度第2回総会について

総会役員を選出

開催日時：平成18年3月26日(日)

13:30～16:30

会場：まちづくりセンター会議室(予定)

議題：①平成18年度事業計画

②平成18年度予算案

③第45回近畿医学検査学会決算

④平成18・19年度役員選出

特別講演：生涯教育セミナー開催予定「認知症について」 15:00～16:30

2) 医療マネジメント学会第3回京滋地方会開催案内

会期：平成18年2月4日(土) 9:30～17:00

会場：ピアザ淡海

滋賀県立県民交流センター

4) 第36回滋賀県公衆衛生学会開催予定

日時：平成18年2月16日(日)

場所：ピアザ淡海県民交流センター

4. 各部の連絡

学術部：第28回滋賀県医学検査学会の演題を募集中

事業部：①12月30日(金)に代表者会開催予定

②平成18年3月12日(日)に報告会予定

生涯部：12月10日(土) 13:30～15:00

ライズヴィル都賀山でセミナー開催予定
テーマ「言語聴覚士の仕事」

厚生部：平成18年1月8日「スキー教室」開催予定

組織部：①会員動向別掲

会計部：「平成18年度の会費納入願い」の公報を送付。

次回理事会予定

開催日時：1月14日(土) 15時～

開催場所：ウエルサンピア滋賀

司会：植田

会員動向

1. 会員の動向(平成17年12月1日現在)

総会員数 514名(日臨技512名、県内2名)

新再入会員 25名

2. 退会

会員番号	氏名	所属
254095	中村 統子	自宅会員

3. 自宅会員

会員番号	氏名	旧所属
250069	平塚 俊三	大津赤十字病院

4. 勤務先の変更

会員番号	氏名	所属	旧所属
254257	西村 みどり	国民健康保険能登川病院	湖東記念病院

お 知 ら せ

第4回輸血・移植分野研修会のお知らせ

日 時：平成18年1月21日(土) 15:00～17:00

場 所：草津市立市民交流プラザ 5階 中会議室
草津市野路町一丁目17番地の2

主 題：『自己対照と直接抗グロブリン試験の意義』

講 師：イムコアカイノス株式会社
技術部部长 佐々木 正照 氏

内 容：日常の輸血検査で遭遇する、自己対照陽性や直接クームス陽性の検査の進め方を中心に、赤血球型抗原のガイドラインの意義、不規則抗体と交差適合試験、酵素法の意義等をお話いただきます。
研修会終了後に意見交換会を企画しましたので、ご参加ください。

連絡先：大津市民病院 臨床検査部
松井 まり子
TEL 077 522 4607 (内線3264)

平成18年度会費納入のお願い

納入期間：平成17年12月1日～平成18年2月28日

会 費：継続会員 15,000円
新入会員 17,500円
再入会員 17,500円

内 訳：日臨技会費 10,000円 日臨技入会費(再入会費) 2,000円
滋臨技会費 5,000円 滋臨技入会費(再入会費) 500円

納入方法：1. 別紙「振込用紙」にてお支払い下さい。
(振込先) 郵便振替口座：(番号)01000 - 4 - 10330
(名 称) 滋賀県臨床衛生検査技師会
2. 施設で一括納入される場合は、振込用紙の通信欄の一覧表に会員番号と会員名を明記していただくか、納入者一覧表を下記宛に送ってください。

会費納入について、不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

〒520 3046 栗東市大橋2-4-1

恩賜財団 済生会滋賀県病院 臨床検査部 植田 正己

☎ 病院077 552 1221

病理検査直通 077 552 9844

全自動尿分析装置〈医療用具〉

US-3100Rの開発コンセプトは、高性能のままの小型化でした。

栄研化学の尿自動分析装置USシリーズは、1992年のUS-2100の誕生以来、測光部にカラーCCDセンサを採用し、その精度と解析能力を進化させてきました。そして、USシリーズ最新機種として「高性能のまま小型化する」をコンセプトに、このUS-3100Rを開発しました。

US-3100R

FULLY AUTOMATED URINE ANALYZER



①コンパクトな全自動尿分析装置

スペースの少ない検査室でも設置できるサイズにこだわりました。(当社従来装置容積比-43%)

②高速処理

ノズルタイプで1時間あたり250検体の高速処理を実現しました。

③同時に2種類の試験紙をランダムアクセス測定

外来、入院や健診、ドックなどの検体を分けずに測定することができます。

④豊富な試験紙から選択可能

「クロペーパーαⅡ'栄研」の豊富なバリエーションの中から選択できます。

⑤日本語表示による対話方式

ファンクションキーの画面操作は、誰にでも簡単に操作できます。

⑥フレキシブルな拡張性

分離型ユニットなので搬送システムへの構築が可能です。また、ホストコンピュータへのネットワーク化やチケットプリンタ、汎用プリンタに同時出力できます。

⑦出力値による精度管理

コントロール測定は出力値(数値)で表示されるため、より詳細な精度管理ができます。

⑧ディリーチェック機能搭載

各センサおよび光学状態などを自動的にチェックすることで、トラブルの事前回避・防止が可能です。

■カラーCCDセンサによる5つのメリット

①ヘモグロビンと赤血球を鑑別します。

②異常発色を検出します。

③試験紙のパッド位置を自動検知、エリア指定も可能です。

④検体ごとに自動光量補正します。

⑤試験紙のパッド枚数を確認します。

●サービスネットワーク

各営業所にテクニカルサービス担当者を設置し、お客様のニーズにお応えしております。またシステムのご相談も承りますので最新の営業所までご連絡下さい。

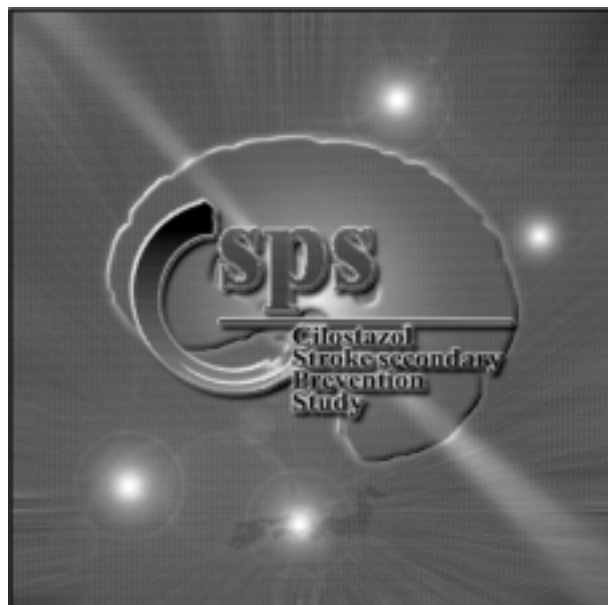
●札幌 011-281-5401 ●仙台 022-712-2882 ●東京第一 03-3913-6497 ●東京第二 03-3913-6568 ●名古屋 052-851-3022

●京都 075-212-7277 ●大阪 06-6264-5312 ●広島 082-271-5319 ●岡山 087-637-7787 ●福岡 092-751-2227

※ご使用の際は、本報章に添付の「取扱い説明書」を必ずご参照下さい。 ※なお、改良のため仕様・外觀については予告なしに変更することがございますので、予めご了承下さい。

●発売元  **栄研化学株式会社**
〒113-8408 東京都文京区本郷1丁目33番8号
<http://www.eiken.co.jp>

●製造元  **寺崎電気産業株式会社**
〒545-0021 大阪府阿倍野区郡南町7丁目2番10号



【警告】

本剤の投与により脈拍数が増加し、狭心症が発現することがあるので、狭心症の症状(胸痛等)に対する問診を注意深く行うこと。[脳梗塞再発抑制効果を検討する試験において、長期にわたりPRP(pressure rate product)を有意に上昇させる作用が認められた。また、本剤投与群に狭心症を発現した症例がみられた。]

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1) 出血している患者(血友病、毛細血管脆弱症、頭蓋内出血、消化管出血、尿路出血、咯血、硝子体出血等)
- (2) うっ血性心不全の患者
- (3) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (4) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効能・効果】

○慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感等の虚血性諸症状の改善

○脳梗塞(心原性脳塞栓症を除く)発症後の再発抑制

【効能・効果に関連する使用上の注意】

無症候性脳梗塞における本剤の脳梗塞発作の抑制効果は検討されていない。

【用法・用量】

通常、成人には、シロスタゾールとして1日100mgを1日2回経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。

【使用上の注意】 一般特一

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 抗凝固剤(ワルファリン等)、血小板凝集を抑制する薬剤(アスピリン、チクロピジン等)、血栓溶解剤(ウロキナーゼ、アルテプラゼ等)、プロスタグランジンE₁製剤及びその誘導体(アルプロスタジル、リマプロストアルファデクス等)を投与中の患者
- (2) 月経期間中の患者
- (3) 出血傾向並びにその素因のある患者
- (4) 冠動脈狭窄を合併する患者
- (5) 糖尿病あるいは耐糖能異常を有する患者
- (6) 重篤な肝障害のある患者
- (7) 重篤な腎障害のある患者
- (8) 持続して血圧が上昇している高血圧の患者(悪性高血圧等)

2.重要な基本的注意

(1) 本剤の脳梗塞患者に対する投与は脳梗塞の症状が安定してから開始すること。(2) 脳梗塞患者への投与にあたっては、他の血小板凝集を抑制する薬剤等との相互作用に注意するとともに、高血圧が持続する患者への投与は慎重に行い、投与中は十分な血圧のコントロールを行うこと。(「1.慎重投与(1)」の項及び「3.相互作用」の項参照)(3) 冠動脈狭窄を合併する患者で、本剤を投与中に過度の脈拍数増加があらわれた場合には、狭心症を誘発する可能性があるため、このような場合には減量又は中止するなどの適切な処置を行うこと。

(4) 本剤はPDE3阻害作用を有する薬剤である。海外においてPDE3阻害作用を有する薬剤(ミルリノン、ベスナリノン)に関しては、うっ血性心不全(NYHA分類III~IV)患者を対象にしたプラセボ対照長期比較試験において、生存率がプラセボより低かったとの報告がある。また、うっ血性心不全を有しない患者において、本剤を含むPDE3阻害剤を長期投与した場合の予後は明らかではない。

3.相互作用

本剤は、主として肝代謝酵素CYP3A4及び一部CYP2D6、CYP2C19で代謝される。

併用注意(併用に注意すること)

- 抗凝固剤(ワルファリン等)、血小板凝集を抑制する薬剤(アスピリン、チクロピジン等)、血栓溶解剤(ウロキナーゼ、アルテプラゼ等)、プロスタグランジンE₁製剤及びその誘導体(アルプロスタジル、リマプロストアルファデクス等)
- 薬物代謝酵素(CYP3A4)を阻害する薬剤(マクロライド系抗生物質(エリスロマイシン等))、(HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル等))、(アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、ミコナゾール等))、(シメチジン、ジルチアゼム等)、(グレープフルーツジュース)
- 薬物代謝酵素(CYP2C19)を阻害する薬剤(オメプラゾール等)

4.副作用

調査症例4,890例中436例(8.92%)に臨床検査値の異常を含む副作用が認められている(承認時、再審査終了時及び効能追加時)。以下の副作用には別途市販後に報告された頻度の算出できない副作用を含む。

重大な副作用

- (1) うっ血性心不全、心筋梗塞、狭心症[※]、心室頻拍(頻度不明)^{*}：うっ血性心不全、心筋梗塞、狭心症、心室頻拍があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- (2) 出血：(脳出血等の頭蓋内出血(頻度不明)^{*}) 脳出血等の頭蓋内出血(初期症状：頭痛、悪心・嘔吐、意識障害、片麻痺等)があらわれることがある。このような場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。(肺出血(頻度不明)^{*})、消化管出血、鼻出血、眼底出血(0.1%未満)等) 肺出血、消化管出血、鼻出血、眼底出血等があらわれることがある。このような場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- (3) 汎血球減少、無顆粒球症(頻度不明)^{*}、血小板減少(0.1%未満)：汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- (4) 間質性肺炎(頻度不明)^{*}：発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、好酸球増多を伴う間質性肺炎があらわれることがある。このような場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- (5) 肝機能障害(0.1~5%未満)、黄疸(頻度不明)^{*}：AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、LDH等の上昇や黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

注：狭心症再発抑制効果を検討する試験において、狭心症(因果関係を問わず)が6/516例(1.16%)に認められている。

*：自発報告又は海外において認められた副作用のため頻度不明。

◇禁忌、慎重投与の設定理由、その他の使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

指定医薬品 抗血小板剤 薬価基準収載

プレタール®錠50
プレタール®錠100
 (シロスタゾール錠) Pletaal® tablets

製造販売元
大塚製薬株式会社
 東京都千代田区神田明町2-9

資料請求先
 大塚製薬株式会社
 信頼性保証本部 医薬情報センター
 〒104-8525 東京都千代田区神田明町2-2
 大塚製薬 神保町2ビル



編 集 雑 感

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと思います。本年も「滋臨衛技だより」をよろしくお願い致します。

昨年 of 県技師会における大きな出来事は、10月に行われた近畿医学検査学会でした。

今年、2月には第28回滋賀医学検査学会、3月には会の運営方針を決める総会が開催され、また、役員 of 改選も行われます。

4月には、診療報酬改定で大幅な引き下げが予想されます。医療業界にとっては、かなり厳しい時代になるのではないのでしょうか。

会員1人ひとりが、置かれた立場を充分認識して、今後、どのように業務に取り組んで行くべきか、考えなければならぬと思います。

さて、話は変わりますが、スポーツ界に目を向けますと、2月にはトリノで冬季オリンピックが開催されます。日本勢の活躍がかなり期待できます。

この寒い冬、暗いニュースを熱い声援で吹き飛ばしましょう。

岡本 記

会誌・会報恵送御礼

京都府 三重県 栃木県 大阪府
東京都 長野県 青森県 愛知県
静岡県 群馬県 島根県 宮城県
栃木県 神奈川県
滋賀県放射線技師会

第218号滋臨衛技だより

2006年 1月15日発行
発行所 滋賀県臨床衛生検査技師会
編集者 岡本 暢之
重田美千代
印刷所 宮川印刷株式会社